

北上川上流取組方針のフォローアップについて

各機関の取組状況等

- ・令和5年度の取組状況
- ・令和6年度の取組予定

第9回
北上川上流大規模氾濫減災協議会

令和6年6月28日

盛岡市

【R5年度実施状況】

②地域防災力を維持・継続・強化するための取組

想定最大規模降雨に対応した水害リスクや避難に関する情報の住民周知

○総合防災訓練や出前講座、市広報等を通して、地域住民に対して水害リスクや避難に関する情報のさらなる周知を図った。



市総合防災訓練



市広報による周知

【R6年度取組内容】

Ⅱ. 地域防災力を維持・継続・強化するための取組

想定最大規模降雨に対応した水害リスクや避難に関する情報の住民周知

○令和5年度に引き続き、総合防災訓練や出前講座、市広報を通して、地域住民に対して水害リスクや避難に関する情報のさらなる周知を図る。
○岩手県から新たに公表された県管理河川の洪水浸水想定区域を反映したハザードマップを作成し、住民等に対して周知を図る。



出前講座



新たに公表された県管理河川の洪水浸水想定区域図

盛岡市

【R5年度取組状況】

○市総合防災訓練や出前講座を通じて、市民の防災・減災への意識醸成を図った。

○防災ラジオ及び広範囲災害警報報知システムの一般普及に向けた方向性の検討

防災ラジオの購入環境構築に向けた検討を行った。また、広範囲災害警報報知システムについても、継続してモニター試験を実施し、需要調査及び機器改良に取り組んだ。

【R6年度取組予定】

○令和6年3月に岩手県から新たに公表された洪水浸水想定区域について市民（特に周辺住民）等に対して、説明会等を実施し、洪水浸水想定区域や避難場所等について周知を図る。

○市総合防災訓練や出前講座を通じて、市民の防災・減災への意識醸成を図る。

○防災ラジオ及び広範囲災害警報報知システムの一般普及に向けた方向性の検討

引き続き、防災ラジオの購入環境構築に向けた検討を行う。また、広範囲災害警報報知システムについても、継続してモニター試験を実施し、需要調査及び機器改良に取り組む。

花巻市

【R5年度実施状況】

②地域防災力を維持・継続・強化するための取組

住民参加型の実践的な訓練の実施

- 自主防災組織など住民参加型の市防災訓練の実施
- 自主防災組織や地域住民への出前講座の実施
- 広報紙やホームページを活用した防災知識の普及



自主防災組織など住民参加型の市防災訓練の実施

広報紙やホームページを活用した防災知識の普及

【R6年度取組内容】

Ⅱ. 地域防災力を維持・継続・強化するための取組

住民参加型の実践的な訓練の実施

- 自主防災組織など住民参加型の市防災訓練の実施
- 岩手県及び遠野市と連携した県総合防災訓練の実施
- 自主防災組織や地域住民への出前講座の実施
- 広報紙やホームページを活用した防災知識の普及



岩手県及び遠野市と連携した県総合防災訓練の実施

自主防災組織等リーダー研修会の実施

花巻市

【R5年度取組状況】

- 継続的な取り組みとして、自主防災組織など住民参加型の市防災訓練を実施した。
- 職員や防災アドバイザーによる、自主防災組織への研修会・出前講座の開催、広報紙での特集ページの掲載など、水害リスクや防災に関する知識の普及に取り組んだ。
- 職員や防災アドバイザーによる出前講座の開催、広報紙での特集ページの掲載など、水害リスクや防災に関する知識の普及に取り組んだ。
- 継続的な取り組みとして、浸水想定区域内の要配慮者利用施設の内、未策定施設について避難確保計画策定支援の取り組みを進めた。
- 指定緊急避難場所、指定避難所、ペット避難所及びマイ・タイムラインについて広報紙やホームページ等により周知を行った。

【R6年度取組予定】

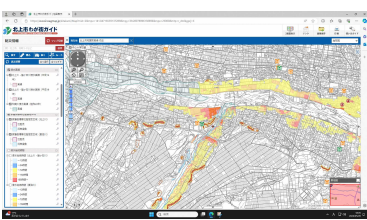
- 継続的な取り組みとして、自主防災組織など住民参加型の市防災訓練を実施する。
- 岩手県及び遠野市と連携した県総合防災訓練の実施、猿ヶ石川の氾濫を想定した住民避難、負傷者等への対応、避難所運営等の訓練を実施するとともに、広域訓練の実施意義に基づき岩手県、2市及び防災関係機関相互の連携と協力体制の強化を図る。
- 県管理の28河川における洪水浸水想定区域が、県によってR6年度下半期に指定（県民に公表）される見込みで、これを受けて要避難者数、備蓄数量算定の基礎データとするため洪水の影響を受ける想定人口や想定世帯数などを調査する。
- 引き続き自主防災組織への研修会・出前講座の開催、広報紙での特集ページの掲載など、水害リスクや防災に関する知識の普及に取り組む。
- 引き続き浸水想定区域内の要配慮者利用施設の内、未策定施設について避難確保計画策定支援の取り組みを進める。
- 引き続き指定緊急避難場所、指定避難所、ペット避難所及びマイ・タイムラインについて広報紙やホームページ等による周知を行う。

【R5年度実施状況】

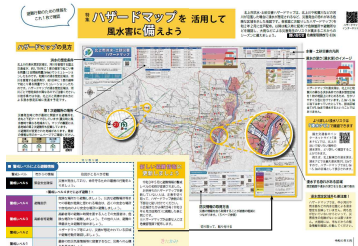
②地域防災力を維持・継続・強化するための取組

想定最大規模降雨に対応した水害リスクや避難に関する情報の住民周知

○インターネットで公開している、デジタルハザードマップ「わが街ガイド」に岩手県が指定・公表した夏油川の想定最大規模による洪水浸水想定区域を反映した。
○市広報に水害への備えに関する特集記事を掲載し、ハザードマップやマイ・タイムラインについて、市民へのさらなる周知、理解促進に取り組んだ。



「わが街ガイド」の更新



市広報による周知

【R6年度取組内容】

Ⅱ. 地域防災力を維持・継続・強化するための取組

想定最大規模降雨に対応した水害リスクや避難に関する情報の住民周知

○岩手県が指定・公表した、和賀川及び口内川の洪水浸水想定区域に係る住民説明会を開催し、地域住民への周知を図る。
○和賀川等の洪水浸水想定区域を反映した、新しいハザードマップを作成し、全戸配布する。



住民説明会の開催
(写真：令和4年度鬼柳3区出前講座)



新しいハザードマップの作成

【R5年度取組状況】

○令和4年度に岩手県が公表した、夏油川の洪水浸水想定区域をデジタルハザードマップ「わが街ガイド」に反映し、閲覧者に最新の情報を提供する環境を整えた。

○市広報5月号に、ハザードマップの解説、マイ・タイムライン作成の体験談を掲載したほか、きたかみケーブルテレビを活用し、出水期前に水害への備えについて市民周知を行った。

○令和5年5月17日に子育て世代を対象にした防災イベント開催し、会場内にハザードマップを掲載した。（参加者：約120名）また、令和6年2月24日に開催した外国人向け防災講習会において、土のうづくり体験を実施し、多様な住民への防災知識の普及啓発を行った。（参加者：約10名）

【R6年度取組予定】

○新しい災害想定による和賀川及び口内川の洪水浸水想定区域の住民説明会を岩手県とともに開催し、沿川の地区の住民に周知、理解促進を図る。

○自主防災組織や自主防災マイスターを対象とする研修会等を開催し、地域の防災リーダーに対して、共助の視点を有した防災意識を醸成する。

○新しいハザードマップを作成し、全戸配布により、広く市民に周知するとともに、防災意識の啓発を行う。

遠野市

1 / 2

【R5年度実施状況】

Ⅱ. 地域防災力を維持・継続・強化するための取組

水害リスク（ハザードマップ）や防災に関する知識の普及

○災害時の自主防災組織の役割、避難所運営及び避難行動要支援者の対応等に関する研修会の実施した。



【R6年度取組内容】

Ⅱ. 地域防災力を維持・継続・強化するための取組

水害リスク（ハザードマップ）や防災に関する知識の普及

○災害時の自主防災組織の役割及び避難所運営に関する研修会の実施。



遠野市

2 / 2

【R5年度取組状況】

○自主防災組織を対象に災害時の主な役割、避難行動要支援者に対する行動等について地区別研修会を行った。

○小学生に対しての防災学習を開催し、ハザードマップを使い、水害リスクや避難場所等について、指導を行った。

○大雨による災害対応が出来るよう水防訓練を行った。

○令和5年度北上川上流総合水防演習に参加した。



【R6年度取組予定】

○昨年度に引き続き、自主防災組織を対象に災害時の主な役割等について地区別研修会を行う。

○関係機関との情報連携を図り、地区センターをはじめとする地域の拠点を活かした防災体制をとれるよう調整する。

○ハザードマップに関する説明会を開催し、水害リスクや避難場所等について、地域住民に対してさらなる周知を図る。

○避難確保計画の作成支援及び避難訓練の実施を促進させ、対象施設の防災意識の醸成を図る。

一関市

1/2

【R5年度実施状況】

Ⅲ. 人命と財産を守る水防活動及び排水活動の取組

水防訓練などの演習、訓練の充実

○北上川上流総合水防演習への参加を通じ、水防技術の向上及び関係機関との連携を図ることができた。



水防団による水防工法



関係機関との連携

【R6年度取組内容】

Ⅱ. 地域防災力を維持・継続・強化するための取組

想定最大規模降雨に対応した水害リスクや避難に関する情報の住民周知

○消防・防災セミナー、市広報紙、SNSなどを活用し、水害リスクの周知を図る。
○令和5年に更新し、全戸配布した防災マップの更なる活用を進める。



セミナーの開催



更新した防災マップ

一関市

2/2

【R5年度取組状況】

○令和5年5月21日（日）に一関市の磐井川左岸東大橋下流河川敷で、河川の出水に備え水防体制の強化と水防技術・水防意識の向上を図ることを目的に開催

○15市町の消防団による水防工法を披露したほか、消防、警察、自衛隊、日本赤十字社、自主防災組織などの関係機関による災害時の対応方法を確認した。

○一関市水防団は、釜段工及び月の輪工を行い、また、市内自主防災組織による簡易水防工法の実演も行った。

【R6年度取組予定】

○消防・防災セミナーにおいて、令和5年に更新した防災マップを活用し、洪水浸水想定区域などの水害リスクや避難場所等の周知を図る。また、広報誌やSNSを用いて広く周知する。

○令和6年度中に洪水浸水想定区域の追加指定が予定されていることから、市民に洪水浸水想定区域や避難場所等の周知を図る。

○要配慮者利用施設について、避難確保計画の作成について支援すると共に、避難訓練の実施の促進及び実施に係る支援についても継続して行う。

○洪水浸水想定区域の追加指定に伴い、当該区域にある要配慮者利用施設を把握した場合には、洪水時の円滑かつ迅速な避難ができるよう、早期段階で施設へ周知すると共に、避難確保計画の作成について支援する。

八幡平市

【R5年度実施状況】

②地域防災力を維持・継続・強化するための取組

水防訓練などでの水防技術・知識の習得活動を実施した。

○北上川上流総合水防演習に参加し、水防技術・知識の習得を図った。



水防技術・知識の習得

【R6年度取組内容】

Ⅱ. 地域防災力を維持・継続・強化するための取組

住民参加型の実践的な訓練の実施

○市総合防災訓練を通じて、地域住民が参加する実践的な避難訓練を実施する。



住民参加の避難訓練

八幡平市

【R5年度取組状況】

○前年度に引き続き、防災士養成研修に1名受講させ、自主防災組織リーダー育成を図った。

○北上川上流総合水防演習に参加し、水防技術・知識の習得を図った。

○県総合防災訓練を通じ、防災関係機関と地域住民が一体となって組織的かつ効率的な諸活動が迅速かつ的確に遂行できるよう実践的な訓練を行うとともに、併せて地域住民の防災意識の高揚を図った。

○前年度に引き続き、防災出前講座を実施し、地域住民の防災意識の高揚を図った。

【R6年度取組予定】

○前年度に引き続き、防災士養成研修に1名受講させ、自主防災組織リーダー育成を図る。

○自主防災組織が組織化されていない地域において説明会を開催し、組織の結成と地域防災力の向上を図る。

○市総合防災訓練を通じ、防災関係機関と地域住民が一体となって組織的かつ効率的な諸活動が迅速かつ的確に遂行できるよう実践的な訓練を行うとともに、併せて地域住民の防災意識の高揚を図る。

○前年度に引き続き、防災出前講座を実施し、地域住民の防災意識の高揚を図る。

奥州市

【R5年度実施状況】

Ⅱ. 地域防災力を維持・継続・強化するための取組

水害リスク（ハザードマップ）や防災に関する知識の普及

- ハザードマップの活用方法を主とした防災企画展を開催し、地域の防災リーダーの育成と市民の防災意識の向上を図った。
- R4に新たに作成したハザードマップを基に自主防災組織や各自治会単位による学習会等を開催し、防災知識を深めた。



防災企画展の開催

【R6年度取組内容】

Ⅱ. 地域防災力を維持・継続・強化するための取組

水害リスク（ハザードマップ）や防災に関する知識の普及

- ハザードマップを基に、浸水想定区域及び土砂災害警戒区域、タイムラインなどについて自主防災組織や各自治会単位による学習会等を開催し、防災知識を深める。



学習会の開催

奥州市

【R5年度取組状況】

- 自主防災組織、自治会等が開催した防災講座へ市職員、奥州市防災士会「絆」から防災士を派遣し、地域の防災力向上を図った。

- 緊急告知ラジオの配布
自主防災組織や、民生委員、要配慮者利用施設等に緊急告知ラジオを配布し、地域への情報伝達体制を充実させ、住民へのいち早い情報周知と避難行動を支援した。

- ICTによる情報伝達として市民生活総合支援アプリ「ぼちっと奥州」によるプッシュ型避難情報発信を構築し、情報伝達体制の充実を図った。

- 防災士の育成と防災フェアの開催地域の防災リーダーとして日ごろから防災・減災の取り組みの推進や指導、有事の際には避難所の運営等に携わる防災士の育成と奥州市防災士会「絆」と連携した防災フェアを開催しての防災・減災に関する啓発活動を実施した。

- 防災パネル展を各地域で開催し、市民の防災意識の向上を図った。

【R6年度取組予定】

- 防災セミナーや防災講座等を開催し、水害リスクや避難場所等について、地域住民に対してさらなる周知とともに地域における防災リーダーの育成を図る。

- 地域防災力向上を図るため、防災士の養成に取り組む。

- 自主防災組織、社会福祉協議会等と共同し、避難行動要支援者に対する個別計画の作成を推進する。

- 総合防災訓練の実施
市と自治会や自主防災組織が一体となって総合的かつ実践的な訓練を実施することで、相互の協力体制の確立及び地域住民の防災意識の高揚を図る。

- 水防団（消防団）の確保
水防団(消防団)の確保対策の重点取組として、消防団協力事業所及び消防団応援の店の拡充と制度周知を図る。

滝沢市

1/2

【R5年度実施状況】

②地域防災力を維持・継続・強化するための取組

想定最大規模降雨に対応した水害リスクや避難に関する情報の住民周知

- 滝沢市地域防災リーダー養成講座を開催し、防災知識を深められた。
- 自主防災訓練等で、地域住民に対して周知を図ることができた。



滝沢市地域防災リーダー養成講座の開催



自主防災訓練の開催

【R6年度取組内容】

Ⅱ. 地域防災力を維持・継続・強化するための取組

想定最大規模降雨に対応した水害リスクや避難に関する情報の住民周知

- 滝沢市地域防災リーダー養成講座を開催し、防災知識を深める。
- 自主防災訓練等で、地域住民に対してさらなる周知を図る。



滝沢市地域防災リーダー養成講座の開催



出前講座の開催

滝沢市

2/2

【R5年度取組状況】

- 令和5年12月8日から13日までに、「滝沢市地域防災リーダー養成講座」を実施し、新たに8名を認定した。
- 1年を通して、各自治会で開催した「自主防災訓練」を支援し、自主防災組織の育成と地域防災力の向上を図ることができた（参加者：1,161名）
- 自主防災組織や地域住民を対象として出前講座を2回実施した。防災マップを活用し、水害リスクや防災に関する知識を深めることができた。

【R6年度取組予定】

- 昨年度に引き続き、地域において防災リーダーとして率先して活動していく人材の育成を目的として「滝沢市地域防災リーダー養成講座」を実施する。
- 昨年度に引き続き、各自治会の「自主防災訓練」を支援し、自主防災組織の育成と地域防災力の向上を図る。
- 昨年度に引き続き、地域住民等から希望がある場合に、出前講座を実施し、防災マップなどを用いて水害リスクや避難場所等についてさらなる周知を図る。

【R5年度実施状況】

②地域防災力を維持・継続・強化するための取組

住民参加型の実践的な訓練の実施

- 総合防災訓練において、水防機材訓練を実施した。
- 自主防災組織による避難所開設、防災学習



総合防災訓練における水防機材等の取り扱い訓練



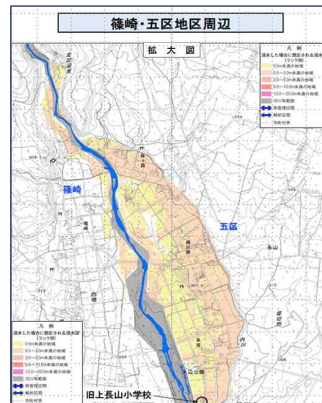
総合防災訓練において自主防災組織を対象にしたHUG訓練

【R6年度取組内容】

Ⅱ. 地域防災力を維持・継続・強化するための取組

想定最大規模降雨によるハザードマップや水害リスクに関する情報の住民周知

- 新たな洪水浸水想定区域が指定された河川の区域図を作成し、影響のある行政区に世帯配布を行い、周知する。
- 自主防災組織の計画する防災講話などにおいて新たな洪水浸水想定区域やリスクについて周知する。



作成した世帯配布資料の例



自主防災組織等が計画する防災講話などにより、情報の周知を行う。

【R5年度取組状況】

○自主防災組織が計画する防災講座及び学校の防災学習等において、地域の水害リスク及び避難情報について周知を図り、防災意識の高揚を図った。

○令和5年度北上川上流総合水防演習に、雫石町消防団が参加し、水防技術の向上及び防災意識の高揚を図った。

○岩手県総合防災訓練への参加により、岩手山噴火後の降雨に伴う土石流への対応のための避難訓練、町民及び役場職員による感染症対策を考慮した避難所の開設訓練等を行い、防災意識の高揚及び地域防災力の向上を図った。

○県が実施した防災士養成研修に2名が参加し、防災士を取得した。

また、県自主防災組織防災リーダー研修会において、自主防災組織から2名が参加し、地域防災力の向上に努めた。

【R6年度取組予定】

○新たに雫石町内の5河川が洪水浸水想定区域の指定されたのに伴い、町HP、広報紙による周知並びに洪水浸水想定区域に影響のある世帯等に対し、ハザードマップを配布し、周知を図る。

○出前講座等において、新たな洪水浸水想定区域の説明・周知を行い、防災意識の高揚及び早期避難の重要性の認識を図る。

○北上川上流盛岡地区合同水防訓練に、雫石町消防団が参加するのに伴い、水防技術の向上及び防災意識の高揚を図る。

○雫石町総合防災訓練への参加により、大雨に伴う土砂災害等からの避難訓練及び避難所の開設訓練並びに各種訓練等を行い、防災意識の高揚及び地域防災力の向上を図る。

○県が実施する防災士研修及び防災リーダー研修会に、自主防災組織等から希望者を参加し、防災士及び地域の防災リーダーの育成を図る。

【R5年度実施状況】

②地域防災力を維持・継続・強化するための取組

想定最大規模降雨に対応した水害リスクや避難に関する情報の住民周知

- 国の交付金を活用し、河川の状況をリアルタイムで確認できるよう町内6か所に河川監視カメラを整備した。
- 浸水想定区域を反映した防災マップを活用した洪水避難訓練を実施した。



総合防災訓練



河川監視カメラ設置

【R6年度取組内容】

Ⅱ. 地域防災力を維持・継続・強化するための取組

想定最大規模降雨に対応した水害リスクや避難に関する情報の住民周知

- 出前講座を開催し、地域住民に対してさらなる周知を図る。
- 総合防災訓練で、自主防災組織や地域住民に、水防資機材等の説明を行い水防の知識を深める。



出前講座の開催



水防資機材の説明

【R5年度取組状況】

○総合防災訓練の実施

令和5年度は川口小学校及びその周辺で訓練を実施した。防災関係機関と地域住民が一体となって総合的かつ実践的な訓練を実施することで、関係機関相互の協力体制の確立及び地域住民の防災意識の高揚を図った。（参加者100名）

○役場職員及び公民館職員等指定避難所運営職員による新型コロナウイルスといった感染症対策訓練の実施や体制を整備するとともに、災害発生時に対応できるよう、感染症対策を踏まえた避難行動等について避難所運営職員に周知を図った。

○自主防災組織や町から推薦した防災士研修会を受講し、防災士を育成すると共に防災士を中心とした防災マップを活用した出前講座等を開催し、地域住民同士で防災知識を深め、防災意識の高揚を図った。

○北上川上流総合水防演習に参加し、水防技術の錬磨、水防活動の連携の保持及び水防思想の一層の高揚を図った。

【R6年度取組予定】

○役場職員及び公民館職員等指定避難所運営職員による新型コロナウイルス感染症対策訓練の実施や体制を整備するとともに、災害発生時に対応できるよう、感染症対策を踏まえた避難行動等について避難所運営職員に周知を図る。

○自主防災組織や町から推薦した防災士研修会を受講し、防災士を育成すると共に防災士を中心とした防災マップを活用した出前講座等を開催し、地域住民同士で防災知識を深め、防災意識の高揚を図る。

○総合防災訓練の実施

令和6年度は北山形地区で訓練実施を予定しており、防災関係機関と地域住民が一体となって総合的かつ実践的な訓練を実施することで、関係機関相互の協力体制の確立及び地域住民の防災意識の高揚を図る。

○地域防災計画、業務継続計画、岩手町消防計画の更新を図り、受援計画の策定を図る。

○盛岡地区水防訓練に参加し、水防技術の錬磨、水防活動の連携の保持及び水防思想の一層の高揚を図る。

紫波町

【R5年度実施状況】

②地域防災力を維持・継続・強化するための取組

想定最大規模降雨に対応した水害リスクや避難に関する情報の住民周知

○R4年度に作成した冊子版防災マップを配布するとともに、町広報・ホームページにより広く町民に周知した。
○住民参加による総合防災訓練を実施し、地域住民と防災関係機関が協力体制を築き、地域防災力の強化を図った。



防災マップの配布



防災訓練の実施

【R6年度取組内容】

Ⅱ. 地域防災力を維持・継続・強化するための取組

想定最大規模降雨に対応した水害リスクや避難に関する情報の住民周知

○住民参加による総合防災訓練を実施し、地域住民と防災関係機関が協力体制を築き、地域防災力の強化を図る。
○自主防災組織リーダー研修会や福祉関係者との避難支援勉強会等を実施し、個別避難計画の普及推進を図る。



防災訓練の開催



自主防災組織研修会の実施

紫波町

【R5年度取組状況】

○前年度に完成した冊子版防災マップを全戸に配布し、町民に周知した。

○昨年度に引き続き、「紫波町防災訓練」を開催し、自主防災組織の育成と地域防災力の向上を図る。

○地区での防災イベントを実施し、地域住民同士で防災知識を深め、防災意識の高揚を図った。

【R6年度取組予定】

○昨年度に引き続き、「紫波町防災訓練」を開催し、自主防災組織の育成と地域防災力の向上を図る。

○昨年度に引き続き住民による地区での防災イベントを実施し、地域住民同士で防災知識を深め、防災意識の高揚を図る。

○自主防災組織や福祉関係団体等と連携し、個別避難計画の作成を進める

【R5年度実施状況】

I. 安全な避難行動のための取組

想定最大規模降雨に対応した水害リスクや避難に関する情報の住民周知

- 更新した防災マップの全戸配布、及び町広報誌・HP、防災ラジオ、TVデータ放送による広報、並びに住民説明会の開催により、地域住民に対して周知を実施
- 防災マップ（WEB版）の更新



防災マップ（冊子版）の周知



住民説明会の実施

【R6年度取組内容】

I. 安全な避難行動のための取組

想定最大規模降雨に対応した水害リスクや避難に関する情報の住民周知

- 更新した防災マップ（冊子版・WEB版）を活用し、各世帯の災害リスクの把握、理解を促進するとともに、わが家の避難行動計画（マイタイムライン）の更なる普及を図る。



マイ・タイムラインの作成支援



【R5年度取組状況】

- 更新した防災マップ（冊子版）を全戸配布するとともに、防災マップ（WEB版）を更新し、町広報誌・HP、防災ラジオ、TVデータ放送による周知、並びに住民説明会の開催により、地域住民に対して普及を図った。
- 要配慮者のうち、医療的ケア児を主対象とした要配慮者用の避難所開設・運営訓練を実施し、家族を含めた避難所受け入れ体制の基礎を確立した。
- 防災ラジオについて、洪水浸水想定区域及び土砂災害警戒区域内の世帯などの無償貸与枠を拡大し、普及拡大を図った。
- 自主防災組織や防災士を対象とした育成講座を開催し、地区における防災訓練や避難行動要支援者の避難支援の在り方について認識を共有した。
- 県防災士養成事業を活用し、新たに19名の防災士を養成するとともに、これまでに養成した130名の防災士による「矢巾町防災士ネットワーク」を構築した。

【R6年度取組予定】

- 昨年度に引き続き、更新した防災マップ（冊子版・WEB版）を活用した住民説明会（防災研修会）を通じ、各世帯の災害リスクの把握、理解を促進するとともに、わが家の避難行動計画（マイ・タイムライン）の普及を図る。
- 要配慮者利用施設の防災対策に係る現況を継続的に把握し、避難確保計画の作成支援を行うとともに、避難訓練等により計画の検証に協力し、避難の実効性を向上する。
- 地区において、自主防災組織が主導する地区住民を対象とした防災訓練等を支援し、「自助」「共助」の向上を図る。
- 昨年度に引き続き、自主防災組織及び町防災士を対象とした育成講座を実施し、最新の防災に関する情報提供及び知識等を付与する。
- 昨年度に引き続き、県防災士養成事業を活用し、町防災士を養成する。（20名を予定）
この際、女性の積極的な参画を図る。

西和賀町

1 / 2

【R5年度実施状況】

Ⅱ. 地域防災力を維持・継続・強化するための取組

自主防災組織等の住民主体による「避難時の声掛け」や「避難誘導」を含む訓練の実施

効果的な役割分担や避難所運営、今後の連携強化を図るため、町と各自主防災組織が共同で防災訓練を実施。



訓練の様子

【R6年度取組内容】

Ⅱ. 地域防災力を維持・継続・強化するための取組

自主防災組織等の住民主体による「避難時の声掛け」や「避難誘導」を含む訓練の実施

効果的な役割分担や避難所運営、今後の連携強化を図るため、町と各自主防災組織が共同で防災訓練を実施。



防災訓練の開催

訓練時に応急手当講習等を実施

西和賀町

2 / 2

【R5年度取組状況】

- 防災マップの説明会を行った。
- 自主防災組織や要配慮者利用施設と連携した訓練を行った。
- 円滑な災害対応業務を行うため、人的応援の受入れに関する受援計画の策定を推進した。
- 防災アドバイザーによる講座を行い、担当職員の知識習得を図った。

【R6年度取組予定】

- 避難に関する知識習得や、防災マップの説明を目的とした出前講座を行う。
- 自主防災組織、要配慮者利用施設や地域企業と連携した訓練を行う。
- 防災アドバイザーによる講座を行い、担当職員の知識習得や各対応班毎の業務内容周知を図る。
- 緊急時の内部組織の確立を図るため、職員を対象に研修会を実施し、防災意識の向上や連携強化を図る。
- 防災マップの更新に向けた情報収集
- 要配慮者利用施設の避難計画作成支援

金ヶ崎町

1/2

【R5年度実施状況】

Ⅱ. 地域防災力を維持・継続・強化するための取組

水害リスク（ハザードマップ）や防災に関する知識の普及

- 自主防災組織の役員を対象に研修会を開催した。
- 県地域防災サポーターによる講演や町からの情報提供として、避難行動要支援者制度、防災マップについて説明を行った。



防災サポーターによる講演



防災マップの説明

【R6年度取組内容】

Ⅱ. 地域防災力を維持・継続・強化するための取組

住民参加型の実践的な訓練の実施

- 防災訓練を実施し、出水期の対応を確認する。
- 自主防災組織内での災害時の声掛けや集団での避難訓練を実施するとともに避難所開設訓練などを実施し災害に備える。



避難所開設訓練



災害対策本部会議

金ヶ崎町

2/2

【R5年度取組状況】

- 自主防災組織や民生委員、公民館事業での児童を対象とした出前講座を開催し、地域内の危険個所などについて理解を深めた。
- 町総合防災訓練を実施し、自主防災組織による地域住民の安全確認などの訓練を行った。
- 自主防災組織を対象にした自主防災組織リーダー研修会を78名の参加のもと開催した。
- 自主防災組織及び防災士を対象に防災セミナーを70名の参加をえて3月に開催した。

【R6年度取組予定】

- 例年8月に実施していた町総合防災訓練について、出水期前の4月に住民参加の実施する。
- 出前講座を積極的に実施し、防災意識の向上を図る。
- 自主防災組織リーダー研修会、防災セミナーを開催し、自主防災組織の育成、地域防災力の向上を図る。
- 町内で防災士の有資格者による組織立ち上げを支援し、防災士の活動機会を増やす。

平泉町

1/2

【R5年度実施状況】

Ⅱ. 地域防災力を維持・継続・強化するための取組

水害リスク（ハザードマップ）や防災に関する知識の普及

○町内21自主防災会を中心に防災・減災を学ぶ研修会を開催しながら、地域住民の連携による避難行動の迅速化と地域防災力の強化を図った。



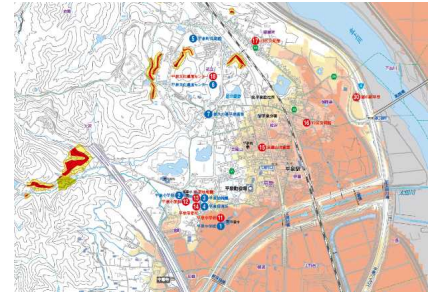
地域防災力の強化を図るための研修会の開催

【R6年度取組内容】

Ⅰ. 安全な避難行動のための取組

想定最大規模降雨によるハザードマップや水害リスクに関する情報の住民周知

○水害リスクや防災に関する知識の普及を図るため、防災ハザードマップを活用しながら、住民の水害等に対する意識向上や安全な避難行動等を周知する。



令和3年制作のハザードマップを更新

平泉町

2/2

【R5年度取組状況】

○町地域防災計画改定により、頻発化・激甚化する気象・自然災害に即応した防災体制の整備強化と関係組織の連携構築を図った。

○「平泉町自主防災組織研修会」を開催しながら、自主防災組織の育成と地域防災力の向上を図るとともに、各地区自主防災会での研修会を通じて、町民の防災に対する意識高揚と住民同士の連携を深めた。

○地域住民への防災情報の確実な伝達を図るため、令和4年度に導入したデジタル防災無線戸別受信機の電波受信状況追跡調査とダイポールアンテナの追加設置を実施した。

○岩手県の防災士養成事業を活用し、防災士1名を養成し、地域リーダーの育成を図った。

【R6年度取組予定】

○昨年度改定した町地域防災計画と新たな土砂災害区域、氾濫想定河川などを反映した「防災ハザードマップ」に更新しながら、水害リスクや避難場所等について、地域住民の安全確保と防災・減災の周知を図る。

○昨年度に引き続き、「平泉町市自主防災組織研修会」を開催する。また、自主防災組織の育成と地域防災力の向上を図る。

○令和4年度導入のデジタル防災無線の個別受信機電波受信状況について全町調査を実施する。

○昨年度に引き続き、防災士養成研修会への参加5名を目標に、地域防災のエキスパート人材の育成を更に図っていく。

東日本旅客鉄道株式会社 盛岡支社

【R5年度実施状況】

I. 安全な避難行動のための取組

ホットライン連絡体制の構築
ICTを活用した洪水、防災に関する各種情報発信の充実

- 台風・低気圧の時期前までに迅速かつ確かな防災体制が図れるよう、関係自治体等の連絡先の確認を進めた。
- 台風・低気圧による河川増水・氾濫等に鑑み、避難情報に関する詳細情報について関係自治体の確認を行い、列車運行可能範囲の把握につとめた。

【R6年度取組内容】

I. 安全な避難行動のための取組

ホットライン連絡体制の構築
ICTを活用した洪水、防災に関する各種情報の収集と運行状況の発信

- 報道機関を通じた情報発信のほか、自社HP上での運行計画を都度、前広に情報共有を継続して実施する。
- 台風の時期前までに迅速かつ確かな防災体制が図れるよう、関係自治体等で発信している防災情報の確認を行う。



Lアラートを活用した発表情報収集

東日本旅客鉄道株式会社 盛岡支社

【R5年度取組状況】

- 沿線自治体が作成するハザードマップの更新状況に合わせ、Microsoft Teamsを活用し、駅や運輸区等の社内職場（駅業務委託会社含む）に情報展開を図った。
- 関係する沿線自治体等へ連絡先の確認を進めながら、発災時における早期列車運行の発表に繋げる連絡体制を構築した。
- 台風・低気圧による河川増水・氾濫等に鑑み、沿線自治体が作成するハザードマップを活用し、避難情報に関する具体的なエリアの詳細情報について関係自治体に確認した。

【R6年度取組予定】

- 沿線自治体が作成するハザードマップやLアラート（財マルチメディア振興センター）を活用し、事前の避難情報等の収集を進め、発災時における早期列車運行の発表に繋げていく。
- 引き続き、台風・低気圧による河川増水・氾濫等に鑑み、沿線自治体が作成するハザードマップを活用し、浸水深の影響が高い車両基地に留置する鉄道車両を、予め事前回送させる取組みを必要に応じて実施していく。
- 引き続き、JR及びJRグループ会社による総合防災訓練をJR東日本盛岡支社の各地区で実施することとし、沿線自治体、消防、警察等の防災関係機関と連携した訓練のほか、各地区では、駅構内、列車、駅ビル等からの避難誘導訓練、多言語を含むお客さまへの情報提供訓練等を行い、対応強化を図っていく。

盛岡地方気象台

【R5年度実施状況】

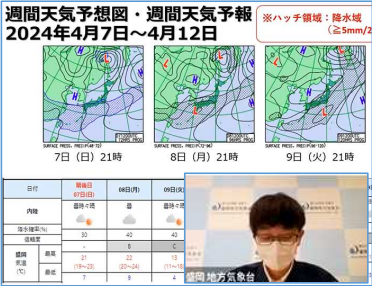
Ⅱ. 地域防災力を維持・継続・強化するための取組

ICTを活用した洪水、防災に関する各種情報発信の充実

「あなたの町の予報官」と「JETT派遣」等により地域防災支援業務を強化

平常時

緊急時



「あなたの町の予報官TV」

- ・「あな町TV」、昨年の最高視聴数は県内26自治体
- ・毎週金曜+荒天時Zoom配信 ※配信前にメールにてURLを周知。



JETT派遣

- ・JETT（気象庁防災対応支援チーム）の自治体への派遣（R5. 8 岩泉町への派遣）

【R6年度取組内容】

Ⅱ. 地域防災力を維持・継続・強化するための取組

教育関係者と協力した防災に関する知識習得の強化

平常時は「気象庁ワークショップ」により地域防災支援業務を強化、緊急時は各種情報提供

平常時

緊急時



ワークショップ

- ・一般向け「気象庁ワークショップ」により「防災気象情報に基づく避難行動を疑似体験」（R5. 11 花泉高校）



情報提供

- ・台風説明会、ホットライン
- ・岩手県風水害対策支援チームへの職員の派遣（写真は訓練）

盛岡地方気象台

【R5年度取組状況】

⑬ 局地化、集中化、激甚化する雨の降り方に対応した防災気象情報の充実

- 注意報・警報基準の見直し
- 線状降水帯の予測時間の延長

1 平常時は

- 毎週金曜日「あなたの町の予報官TV」による解説
- 岩手県と協力し、市町村の防災担当者へ気象防災ワークショップを実施
- 研修支援・説明会を実施
- 中学校・高校に対し、一般向け「気象庁ワークショップ」により普及啓発
- 自治体・関係機関の各種防災計画・タイムラインの見直しに協力
- 各種防災訓練へ参加

2 緊急時は

- 荒天時「あな町TV」台風説明会
- 市町村防災担当者へホットラインで気象解説
- JETT（気象庁防災対応支援チーム）の派遣
岩手県：岩手県庁、岩泉町、田野畑村、宮古市
石川県：珠洲市、能登町、輪島市、穴水町

【R6年度取組予定】

⑬ 局地化、集中化、激甚化する雨の降り方に対応した防災気象情報の充実

- 注意報・警報基準の見直し
- 「線状降水帯による大雨の半日程度前からの呼びかけ」の地方単位から府県単位発表への改善

1 平常時は

- 毎週金曜日「あなたの町の予報官TV」による解説
- 市町村職員研修や各種勉強会での「防災気象情報の活用」の説明、市町村の防災担当者や学校機関及び一般向けにワークショップによる普及啓発を実施
- 防災訓練のシナリオ作成に協力
- 自治体・関係機関の各種防災計画や避難マニュアル・タイムラインの作成に協力
- 各種防災訓練への参加

2 緊急時は

- Webによる台風説明会の実施、ホットラインなど利用者の立場に立った情報提供に努めます。
- 大規模な災害時に、県（岩手県風水害対策支援チーム）や市町村へJETT（気象庁防災対応支援チーム）として気象庁職員を派遣し、現場のニーズや各機関の活動状況を踏まえたきめ細やかな気象解説を行います。

岩手県 復興防災部 防災課

1/2

【R5年度実施状況】

Ⅲ. 人命と財産を守るための取組

浸水想定区域内にある重要施設などへの情報伝達の充実

・ 岩手県風水害対策支援チームの活動

令和5年6月2日に、台風接近時の風水害対策支援チーム事務局の災害対応力の向上を図るため、風水害対策支援チーム運営訓練を実施した。

同月7日に連絡会議を開催し、昨年度の連絡会議での意見交換結果や、運営訓練を踏まえた改善点を共有した。

平常時は気象台等と連携し、13市町村において、防災気象情報の活用、災害情報システムの操作、災害への初動対応や図上訓練等に係る研修を実施した。

【R6年度取組内容】

Ⅲ. 人命と財産を守るための取組

浸水想定区域内にある重要施設などへの情報伝達の充実

・ 岩手県風水害対策支援チームの活動

台風接近時

岩手県風水害対策支援チームを招集し、市町村に対する助言内容を検討し、必要な助言を行う。

平時

気象台等と連携し、15市町村において防災気象情報の活用、災害情報システムの操作、災害への初動対応や図上訓練等に係る研修を実施する。

岩手県 復興防災部 防災課

2/2

【R5年度取組状況】

風水害対策支援チームの活動を継続し、市町村への避難指示等発令を支援するとともに、市町村研修会への講師派遣などを行った。

また、自主防災組織等に対する地域防災サポーターの派遣（令和5年度：57回派遣、3,878人研修等受講）を継続し、自主防災組織の活性化等を支援した。

さらに、市町村と連携し、自主防災組織の中核となって活動できる人を対象とし、防災士の資格取得のための研修会（令和5年度：73人養成）を実施した。

【R6年度取組予定】

風水害対策支援チームの活動を継続し、市町村への避難指示等発令を支援するとともに、市町村研修会への講師派遣などを行う。

また、自主防災組織等に対する地域防災サポーターの派遣を継続し、自主防災組織の活性化等を支援する。

さらに、市町村と連携し、自主防災組織の中核となって活動できる人を対象とし、防災士の資格取得のための研修会を実施する。

岩手県県土整備部

【R5年度実施状況】

I. 安全な避難行動のための取組

想定最大規模降雨による水害リスク（浸水想定区域図）の作成・公表

○洪水浸水想定区域指定4ヶ年計画に基づき、70河川（うち、当圏域は滝名川等の53河川）を新規指定。



【R6年度取組内容】

I. 安全な避難行動のための取組

想定最大規模降雨による水害リスク（浸水想定区域図）の作成・公表

○洪水浸水想定区域指定4ヶ年計画に基づき、85河川（うち、当圏域は来内川等の83河川）を新規指定予定。

洪水浸水想定区域指定4ヶ年計画

	全体計画	うち北上川上流圏域
R4	7河川（新規指定） 23河川（見直し）	1河川（新規指定） 7河川（見直し）
R5	70河川（新規指定） 2河川（見直し）	53河川（新規指定） 2河川（見直し）
R6	85河川（新規指定） 4河川（見直し）	83河川（新規指定） 2河川（見直し）
R7	81河川（新規指定） 1河川（見直し）	5河川（新規指定）
合計	243河川（新規指定） 30河川（見直し）	142河川（新規指定） 11河川（見直し）

岩手県県土整備部

【R5年度取組状況】

○水位周知河川指定4ヶ年計画に基づき、2河川（うち、当圏域はなし）について、水位周知河川の指定を行った。

○水位計設置4ヶ年計画に基づく1河川（うち、当圏域はなし）について、水位計の設置を行った。

○洪水浸水想定区域指定4ヶ年計画に基づき、70河川（うち、当圏域は滝名川等の53河川）について、洪水浸水想定区域の指定を行った。

○岩手日報（新聞）及びエフエム岩手（ラジオ放送）にて、水防等に関する情報発信を行った。

○危機管理型水位計1基（うち当圏域は黒沢川の1基）、簡易型河川監視カメラ5基（うち当圏域は岩崎川の1基）の設置を行った。

○ライン及びX（旧Twitter）で河川の水位情報の発信を行った。

○ハザードマップ作成における防災・安全交付金の活用を支援した。

【R6年度取組予定】

○水位周知河川指定4ヶ年計画に基づき、4河川（うち、当圏域は滝名川等の2河川）について、水位周知河川の指定を行う予定。

○水位計設置4ヶ年計画の令和6年度分の1河川（うち当圏域は和賀川の1河川）について、新規設置を予定。

○洪水浸水想定区域指定4ヶ年計画に基づき、85河川（うち、当圏域は来内川等の83河川）について、洪水浸水想定区域の新規指定を行う予定。

○近年設置した危機管理型水位計327基、監視カメラ155基の継続運用。

○ハザードマップ作成における防災・安全交付金の活用を支援する。

東北運輸局

【R5年度実施状況】

I. 安全な避難行動のための取組

⑫ ICTを活用した洪水、防災に関する各種情報発信の充実

各構成員で洪水予報、水位情報、ダム放流情報、避難情報、運休計画等に関する各種情報を発信。

○東北運輸局ホームページに「公共交通機関運行情報」として各鉄道事業者HPのリンクを配置。



東北運輸局ホームページより

【R6年度取組内容】

Ⅲ. 人命と財産を守る水防活動及び排水活動の取組

⑬ 浸水想定区域における防災拠点や排水機場、災害拠点病院等の機能性確保、耐水化

把握した施設の非常用電源・耐水化の確認及び対策の実施

○被災した鉄道施設への、鉄道災害調査隊に関する派遣要望の対応窓口等を行う。

○鉄道施設の災害復旧に係る事業間連携に関する連絡調整会議を開催する。



被災した鉄道施設の調査



鉄道施設の災害復旧に係る連絡調整会議の様相

東北運輸局

【R5年度取組状況】

○東北運輸局ホームページに「公共交通機関運行情報」として、各鉄道事業者の運行情報を確認できるように、各鉄道事業者HPへのリンクを配置した。

○気象庁から適時発表される気象情報等について、東北管内の各鉄道事業者にもメールにより情報提供し、注意喚起を行った。

○東北管内の鉄道事業者で構成する鉄道保安連絡会議を開催し、気象情報の活用等、鉄道事業者の責務である安全運行に資する情報交換等を行った。

【R6年度取組予定】

○鉄道事業者の鉄道施設が被災した際は、速やかに被害状況の把握に努め、早期復旧に向けて連携して推進する。

○被災した鉄道施設への、鉄道災害調査隊に関する派遣要望の対応窓口等を行う。

○鉄道施設の災害復旧に係る事業間連携に関する連絡調整会議を開催する（必要に応じて）。

【R5年度取組状況】

- SNS、HP、記者発表等を通じダム情報の発信を引き続き実施する。
- 安全な避難行動のための取組として、AIを活用した洪水予測システムを構築した。
- 各地区の防災訓練への参画や出前講座など、地域防災力を強化するための取組を実施した。
- ダム見学者へのダム効果や機能の説明、水害リスクの説明を実施した。
- 警報内容を地域住民の方に認識していただくとともに、スピーカからの音達範囲を確認するため警報訓練を実施した。（6月8日から15日）
- 報道機関を対象としたダム操作・警報に関する説明会を実施した。
- 予測降雨量や流入量が基準値に達した場合は、要領に従い事前放流を実施する。（基準値超過降雨無し）
- 四十四田ダム嵩上げのため、調査・設計、環境調査等を実施した。（継続）

【R6年度取組予定】

- SNS、HP、記者発表等を通じダム情報の発信を引き続き実施する。【2/5参照】
- 安全な避難行動のための取組として、AIを活用した洪水予測システムを試験運用する。
- 各地区の防災訓練への参画や出前講座など、地域防災力を強化するための取組を実施する。【3/5参照】（6月8日出前講座を実施済み（取り組みは継続））
- ダム見学者へのダム効果や機能の説明、水害リスクの説明を実施する。
- 警報内容を地域住民の方に認識していただくとともに、スピーカからの音達範囲を確認するため警報訓練を実施する。【4/5参照】（6月7日から27日実施済み）
- 報道機関を対象としたダム操作・警報に関する説明会を実施する。（第1回令和6年6月18日実施済み）
- 予測降雨量や流入量が基準値に達した場合は、要領に従い事前放流を実施する。【5/5参照】
- 四十四田ダム嵩上げのため、調査・設計、環境調査等を実施する。（継続）【5/5参照】

【R5年度実施状況】

I. 安全な避難行動のための取組

ICTを活用した洪水、防災に関する各種情報発信の充実

○SNS、HP、記者発表等を通じダム情報の発信を実施。



リアルタイム情報の発信



SNSによる防災情報の発信 HPによるリアルタイム情報の発信

【R6年度取組内容】

I. 安全な避難行動のための取組

ICTを活用した洪水、防災に関する各種情報発信の充実

○SNS、HP、記者発表等を通じダム情報の発信を引き続き実施。

SNSを用いた情報発信



SNS、HP等によるダム情報の発信

北上川ダム統合管理事務所

【R5年度実施状況】

Ⅱ. 地域防災力を維持・継続・強化するための取組

ダムや堤防など防災施設に関する知識の普及

- 各地区の防災訓練への参画や出前講座など、地域防災力を強化するための取組を引き続き実施。
- ダム見学者へのダム効果や機能の説明、水害リスクの説明を実施。



出前講座実施状況

ダム見学実施状況

【R6年度取組内容】

Ⅱ. 地域防災力を維持・継続・強化するための取組

ダムや堤防など防災施設に関する知識の普及

- 各地区の防災訓練への参画や出前講座など、地域防災力を強化するための取組を引き続き実施。
- ダム見学者へのダム効果や機能の説明、水害リスクの説明を引き続き実施。

◆四十四田ダムの例

◆主要なダム見学コース（団体向け：総所要時間 120分程度）



▲ダム堤体内部を見学

▲ものしり館でダムの概要を見学

ダム見学や出前講座、パネル展示などで効果等の説明

北上川ダム統合管理事務所

【R5年度実施状況】

Ⅲ. 人命と財産を守るための取組

水防演習などの演習、訓練の充実

- 管内5ダムにおいて、緊急効果音を追加した緊急放流（異常洪水時防災操作）時の放流警報訓練を防災担当者及び地域の方々と実施。
- 行政関係機関だけでなく、沿川の地区長や地域住民も参加いただき訓練を実施。



四十四田ダムの実施状況



実施状況（SNSによる投稿）

【R6年度取組内容】

Ⅲ. 人命と財産を守るための取組

水防演習などの演習、訓練の充実

- 管内5ダムにおいて、緊急放流（異常洪水時防災操作）時の放流警報訓練を防災担当者及び地域の方々と実施。（6月7日から6月27日）。
- 行政関係機関だけでなく、沿川の地区長や地域住民も参加いただき訓練を実施。



R2. 6から追加

北上川ダム統合管理事務所

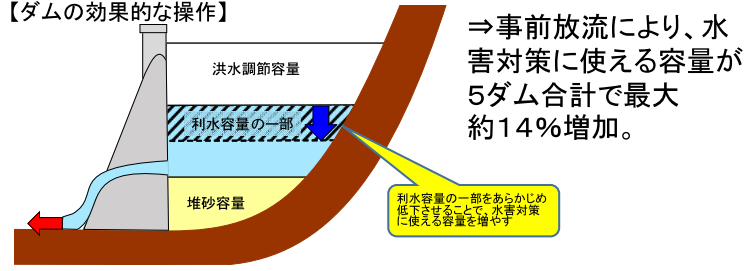
【R5年度実施状況】

Ⅲ. 人命と財産を守るための取組

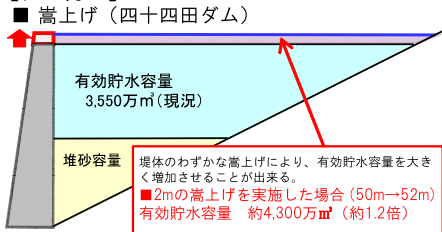
ダムの効果的な操作 (柔軟な運用)
ダム再生

- 予測降雨量や流入量が基準値に達した場合は、要領に従い事前放流を実施。(R5は対象となる降雨なし)
- 四十四田ダム嵩上げのため、調査・設計、環境調査等を実施。

【ダムの効果的な操作】



【ダム再生】



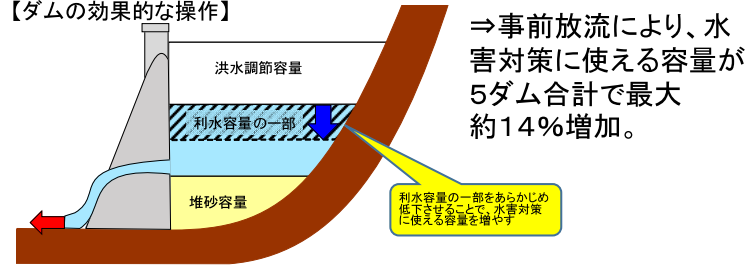
【R6年度取組内容】

Ⅲ. 人命と財産を守るための取組

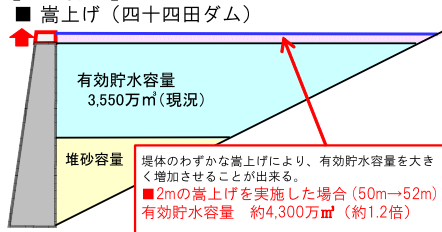
ダムの効果的な操作 (柔軟な運用)
ダム再生

- 予測降雨量や流入量が基準値に達した場合は、要領に従い事前放流を実施する。
- 四十四田ダム嵩上げのため、調査・設計、環境調査等を継続実施。

【ダムの効果的な操作】



【ダム再生】



岩手河川国道事務所

【R5年度実施状況】

I. 安全な避難行動のための取組

河川監視カメラの画像・映像など災害情報の積極的な配信の充実

○事務所ホームページ及び「川の防災情報」で画像情報を配信、危機管理型水位計を5箇所更新済み。



川の防災情報

【R6年度取組内容】

I. 安全な避難行動のための取組

河川監視カメラの画像・映像など災害情報の積極的な配信の充実

○事務所ホームページ及び「川の防災情報」で画像情報及び水位・雨量情報の配信継続及び機器の維持管理。



事務所HPの提供状況

岩手河川国道事務所

【R5年度実施状況】

II. 地域防災力を維持・継続・強化するための取組

水害リスク（ハザードマップ）や防災に関する知識の普及、ダムや堤防など防災施設に関する知識の普及

○自治会や学校、地域住民を対象とした出前講座にて、水害リスクやダム・堤防等の防災施設に関する知識の普及活動を実施した。



学校や地域住民への出前講座

【R6年度取組内容】

II. 地域防災力を維持・継続・強化するための取組

水害リスク（ハザードマップ）や防災に関する知識の普及、ダムや堤防など防災施設に関する知識の普及

○自治会や学校など地域住民を対象とした、水害リスクやダムや堤防等の防災施設に関する知識、マイタイムラインや防災情報の入手等に関する普及活動を実施する(出前講座など)。



出前講座でスマートフォンによる「川の防災情報」の使い方説明

岩手河川国道事務所

【R5年度実施状況】

Ⅲ. 人命と財産を守る水防活動及び排水活動の取組

水防団や地域住民への、洪水に対するリスクが高い箇所（重要水防箇所など）の確実な伝達

○水防活動関係者と重要水防箇所合同巡視を行い、危険箇所の情報共有を行った。



【R6年度取組内容】

Ⅲ. 人命と財産を守る水防活動及び排水活動の取組

水防団や地域住民への、洪水に対するリスクが高い箇所（重要水防箇所など）の確実な伝達

○水防活動関係者と重要水防箇所合同巡視を行い、危険箇所の情報共有を行う。



岩手河川国道事務所

【R5年度取組状況】

○水害リスクに関する知識の普及、ダムや堤防など防災施設に関する知識の普及

自治会や学校など地域住民を対象とした出前講座にて、水害リスクやダム・堤防等の防災施設、マイ・タイムラインや防災情報の入手に関する知識の普及活動を実施した。

○河川監視カメラの画像・映像などの災害情報の積極的な配信の充実

事務所ホームページ及び「川の防災情報」で画像情報の配信を継続している。あわせて水位・雨量情報も配信し、一般の方が情報を入手することができるようになっている。

○重要水防箇所合同巡視

洪水時におけるリスクが高い箇所の確実な伝達を目的に水防団等との重要水防箇所合同巡視を実施した。

○水害対応「タイムライン」の改善や見直し

災害対策基本法の改正等を踏まえたタイムライン見直しの必要性について、大規模氾濫減災協議会幹事会、洪水予報・水防連絡会にて情報提供を行った。

【R6年度取組予定】

○水害リスクに関する知識の普及、ダムや堤防など防災施設に関する知識の普及

自治会や学校など地域住民を対象とした、水害リスクやダム・堤防等の防災施設、マイ・タイムラインや防災情報の入手に関する知識の普及活動を実施する(出前講座など)。

○河川監視カメラの画像・映像などの災害情報の積極的な配信の充実

事務所ホームページ及び「川の防災情報」で画像情報の及び水位・雨量情報の配信継続及び機器の維持管理。

○重要水防箇所合同巡視

洪水時におけるリスクが高い箇所の確実な伝達を目的に水防団等との合同巡視を実施する。

○他機関連携型タイムラインを順次展開

河川・気象情報の提供やこれを受けた市区町村による避難情報の発令など、基本的な行動を時系列で整理するタイムラインを、流域などの単位で関係自治体をまとめて作成し、運用するとともに、活用による気づきを修正し改善を図っていく。